

# ほけんだより



今年は、平年より2週間も遅い梅雨入りとなりました。梅雨入りが遅れた場合、大雨になる事が多いそうです。今のうちに、雨の備えもしておくで安心ですね。例年の梅雨明けは、7月20日頃だそうです。熱中症に注意しつつ、紫陽花やカタツムリ等、短い梅雨を感じられるといいですね。

7月の和名は『文月(ふみづき)』。7月のイベントといえば、七夕。今では、短冊に願い事を書いています。昔は文字や歌を短冊につづり、書道などの上達を願っていたそうです。このつづった文を広げて見せるという風習から、文披月(ふみひらきづき)→文月と呼ぶようになったという説が有力とされています。また、この時期は稲が生長し、背丈も大きくなっていきます。そこから稲がよく見える月、ほみつぎ(穂見月)→ふみづき。また、穂がふくらむ季節でもあるので、穂ふふみ月(ふふむは古語で含むや膨らむの意)→ふふみ月→ふみ月になったという説もあるそうです。玄関にも笹の葉が飾られ、様々な願い事が揺れています。みんなの願い事が叶いますように。

そして、7月1日は1年の折り返しの日。令和6年も残り半分です。気持ちも新たに元気に笑顔で1日1日を大切に過ごしていきたいですね。

## 感染症情報



|             |    |
|-------------|----|
| マイコプラズマ感染症  | 1名 |
| 伝染性紅斑(りんご病) | 4名 |



※伝染性紅斑(りんご病)は、微熱や鼻水といった風邪症状が出て、その1週間程度後に頬や身体に網目(レース)状の発赤が出来る病気です。子どもは、感染しても基本的に重症化する事のない病気ですが、妊娠初期に感染すると、胎盤を通して胎児にも感染し、流産、死産や胎児水腫になる為、注意が必要です。

※マイコプラズマ感染症は、原因となるマイコプラズマ(細菌)に感染して2~3週間の潜伏期間を経た後に発熱、だるさ、頭痛などが現れるのが特徴です。肺炎の特徴的な症状である咳などの呼吸器症状は発症後3~5日ほど経ってから現れることが多いとされています。また、発熱などの全身症状は通常数日で改善しますが、咳のみが1か月ほど続くのも特徴の1つです。

「頭をよくかいていたら  
注意！」

**お** 子様が頻繁に頭をかいたり、かゆみを訴えたりしたら、髪の毛に注目してください。アタマジラミが原因かもしれません。耳の周囲、襟足、頭頂部、髪を束ねた毛根部などはアタマジラミの成虫や幼虫、卵が多い場所です。注意して見てあげてください。



**アタマジラミの駆除**

- 2週間ほど大人が洗髪し洗い流す
- 梳き櫛など目の細かい櫛で髪をとかす

**ア** タマジラミは不潔だからうつるものではありません。頭髪から頭髪へアタマジラミが移動することで感染します。園での感染拡大防止のため、もし発見したらお知らせください。

予防には、適切な駆除や毎日の洗髪、タオルなどの共用を避けるなどが有効です。



**忘れないで 溺れるときは静かです！**

「溺れる」と聞いて、どんな姿を想像しますか？



実際の姿は…



ほとんどの子どもは、自分の身に何が起きたかわからず、声も出さないそうです。さらに気をつけたいのは、水深。わずか10cmの深さでも、鼻と口を覆う量の水があれば溺れてしまいます。

海やレジャー施設だけでなく、家庭用のプールやお風呂でも、危険はすぐそこにあります。

**絶対に目を離さないでください！**

**水辺で遊ぶときはライフジャケットを**



海や川で子どもが命を落とす事故が、毎年起こっています。

命を守るために…

- 友だちに「川で遊ぼう」などと誘われても、子どもだけで行ってはいけません。大人に声を掛けましょう。
- 水辺で遊ぶときはライフジャケットを着てください。これは大人がいる時でも同じです。水辺の事故の多くがライフジャケットを着ていれば防げたという調査もあります。



車に乗ったらシートベルトをするように「水辺で遊ぶときはライフジャケット」。覚えておいてくださいね。

※5歳児クラスは、MRワクチンの追加接種の対象の年齢になります。就学前に忘れずに受けるようにしましょう。また、受け忘れていない物がないか見直しもお願いします。

令和6年7月1日

